

乾式タイル下地材 **ラインベース18**

製品本体保証	加工性	施工性	両面合成樹脂塗装/ 繊維混入セメント押出成形板	耐火等級 3	金具推奨	横張り ヨコ	ゼロ アスベスト
---------------	------------	------------	----------------------------	-------------------------	-------------	------------------	--------------------

- 押出成形後、ルーターにて溝加工をほどこしているため、寸法精度に優れた乾式タイル下地です。
- 加工性は木材並みで、しかも軽量。

18mm厚 ビス・釘

適用下地		地域		工法	
木造	鉄骨	一般	積雪	金具	釘打
○	○	○	○	○	○

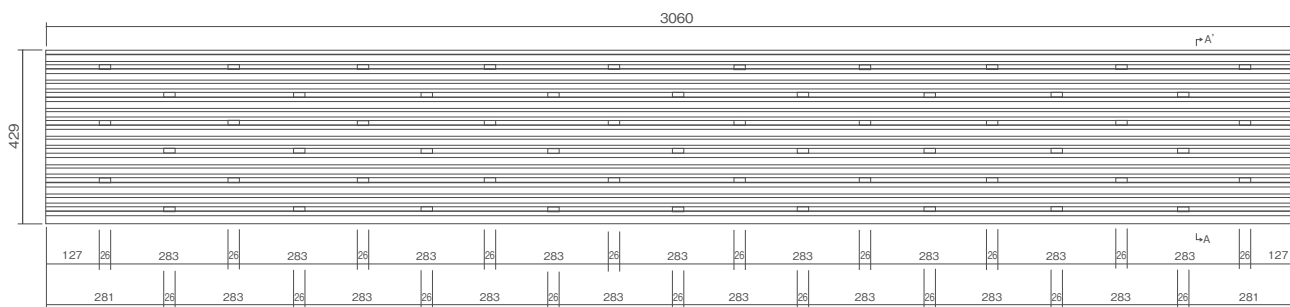
国土交通大臣認定不燃材料:NM-1799

ラインベース18

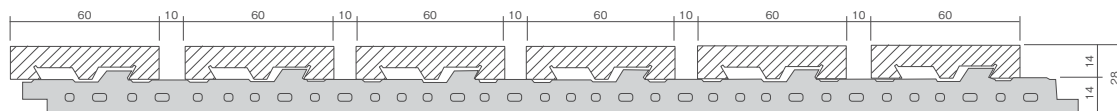
寸法	厚さ18mm×幅429mm×長さ3060mm
重量	約21kg/枚(約42kg/梱)
価格	5,500円/枚
塗装	無塗装(着色シーラー)
梱包	シュリンク梱包(2枚入/梱)
パレット積み数	40梱包/パレット(2列/20段)

タイル下地材 提案形状図

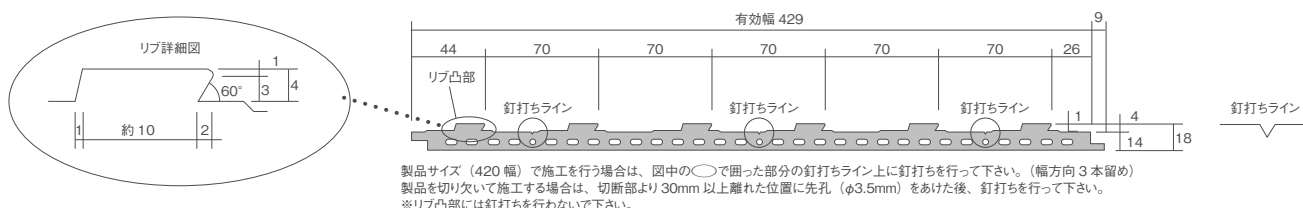
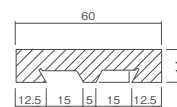
表面形状図



タイル貼り付け状態図



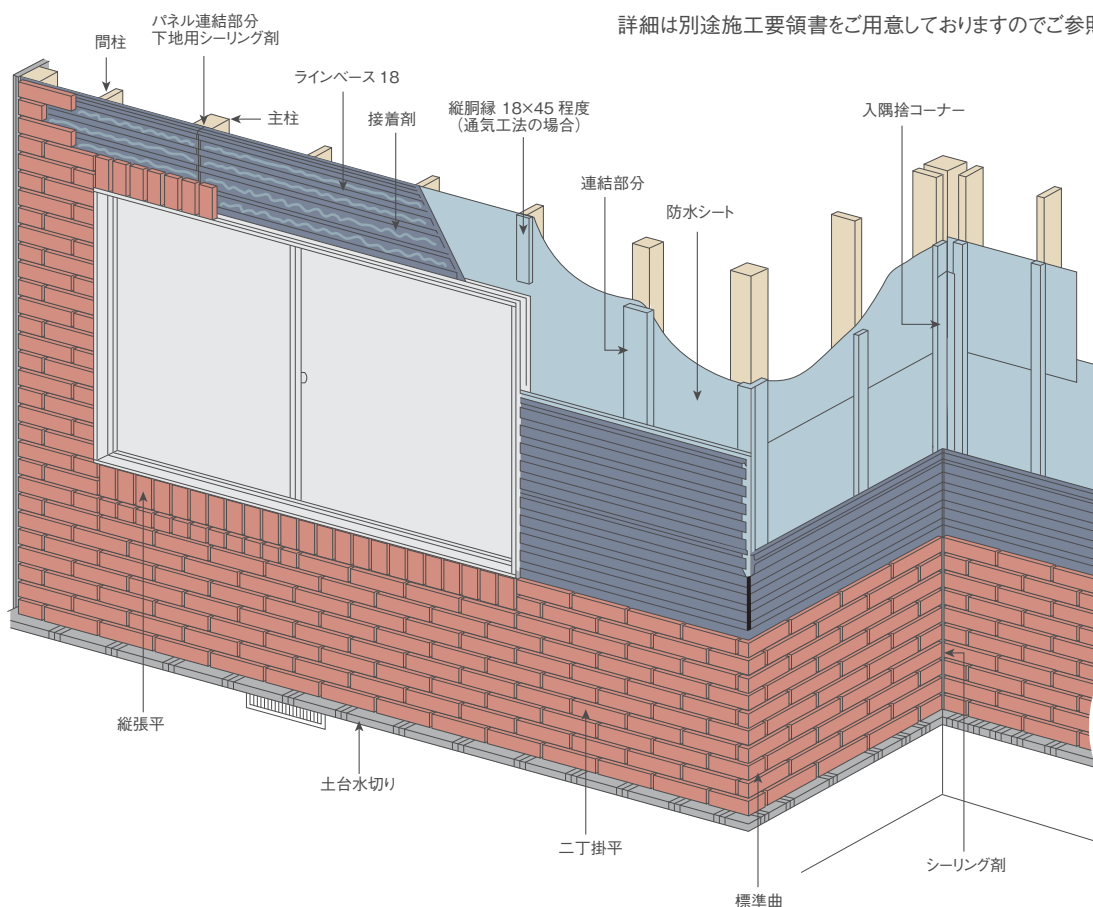
タイル形状図



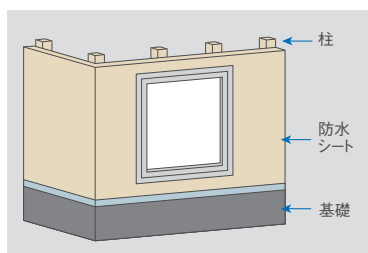
製品サイズ(420幅)で施工を行う場合は、図中の○で囲った部分の釘打ちライン上に釘打ちを行って下さい。(幅方向3本留め)
製品を切り欠いて施工する場合は、切断部より30mm以上離れた位置に先孔(φ3.5mm)をあけた後、釘打ちを行って下さい。
※リップ凸部には釘打ちを行わないで下さい。

システム構造図

詳細は別途施工要領書をご用意しておりますのでご参照ください。

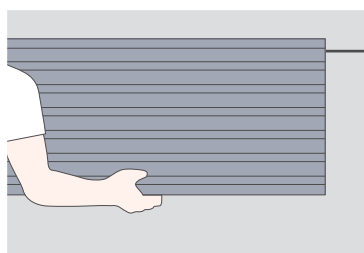


施工手順



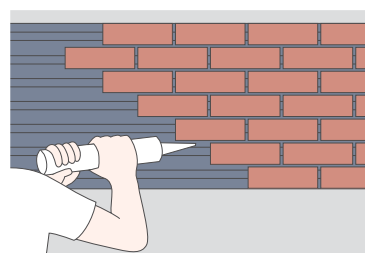
①下地づくり・防水シート張り

柱・間柱は60kg/m²以上の重量に耐えるものにして下さい。下地として構造用合板(9~12mm程度)を段差のないよう取り付け、その上に防水シート(タイベック)を貼ります。防水構造が必要な場合は不燃材を併用して下さい。



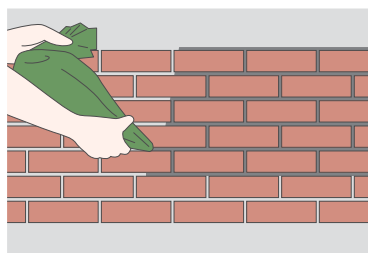
②パネル取り付け

パネル割付けに従い水平墨を打ち、パネルを取り付けます。パネルは3本の柱にまたがるようにして、下から上へ順々に取り付けてください。釘はステンレススクルー釘をパネル1枚あたり縦方向に3本打って、横方向に対して胴縁ごとに止め付けてください。



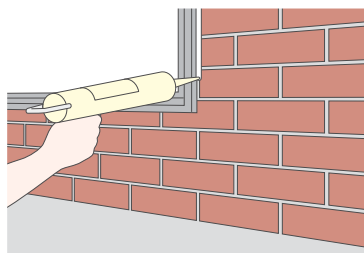
③タイル取り付け

タイル割付けに従い基準墨(たて墨)を打ち、タイルを取り付けます。タイルをパネルに引掛け、接着剤で固定します。



④目地詰め、洗い

目地を詰め、硬化後希塩酸(2~3%)で洗ってください。
※セメント系石材は酸洗しないようにして下さい。



⑤シーリング材の施工

窓廻り、入り墨等にシーリング材を打ち、防水処理をします。

※釘打位置は端部から30mm以上下端より30mm以上で釘打を行ってください。

※パネルの長さ1/4以下の取付けの場合は必ず下穴をあけてから取付けてください。